

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腹膜透析導入1年以内の出口部感染・腹膜炎発症率の現状調査とケア介入前後の比較

1. 研究の対象および研究対象期間

2013年3月1日～2017年12月31日に当院で腹膜透析を導入された方

2. 研究目的・方法

腹膜透析（以下PD）離脱に影響を及ぼす因子に腹膜炎があり、腹膜炎の原因として出口部感染・トンネル感染があります。2015年2月以降PDを導入した方には、外来において看護師によるケアを行っていますが、このケアの効果を明らかにすることを目的とし、看護師によるケアを受けた方と、2015年2月以前にPD導入しケアを受けていない方の出口部感染と腹膜炎の発症数を比較します。研究方法は、カルテより、腹膜透析導入1年以内の出口部感染回数と腹膜炎発症回数を調査し、PD導入し退院後6カ月間の外来で看護師からのケアを受けた患者さんと、ケア介入を受けていない患者さんの比較します。

研究期間

「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2018年12月まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、入院日数、X線検査、血液検査、腹膜機能検査 看護師のケア内容

4. お問い合わせ先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：看護部 血液浄化センター 氏名：鷺見 朋子

住所：東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8447

研究責任者：鷺見 朋子